



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回臨時議会・第2回定例議会 2~3

前期各常任委員長報告 4~5

新・常任委員会決定！ 5

行政の考えを問う（一般質問） 6~8

北海道町村議会議員研修会 9

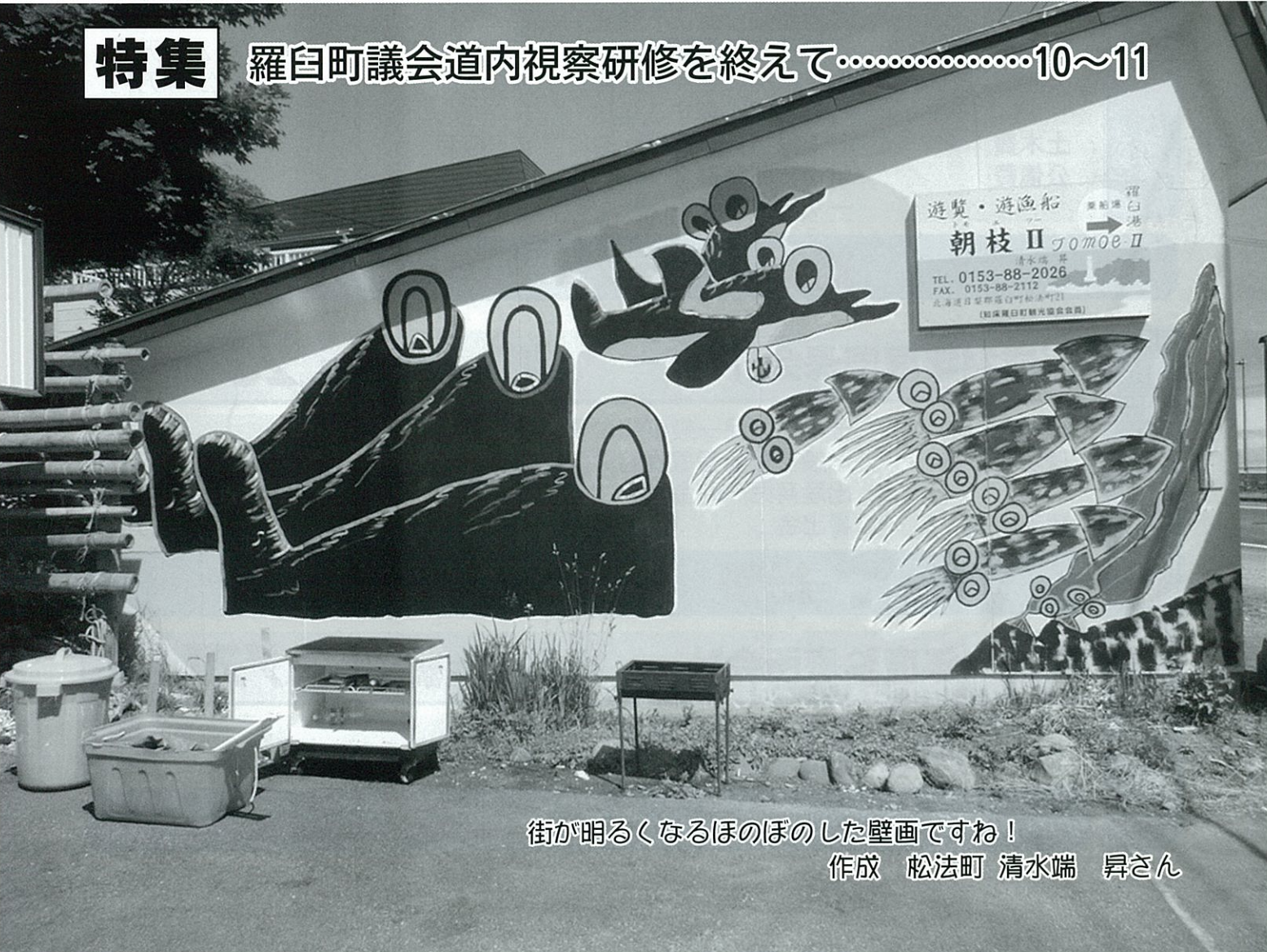
平成25年

第138号

8月10日

特集

羅臼町議会道内視察研修を終えて.....10~11



街が明るくなるほのぼのした壁画ですね！
作成 松法町 清水端 昇さん

平成25年 第1回臨時議会 平成25年 第2回定例議会

去る5月8日、平成25年第1回臨時議会、6月20日、第2回定例議会が行われ、予算及び条例などが審議され、全て原案通り可決した。

平成24年度一般会計

補正額 **1億8,514万円**

第1回臨時議会

総務費	その他一般行政に要する経費 地域提案型事業に要する経費	25,050万円 △388万円
民生費	心身障がい者特別対策事業に要する経費 特別会計繰出金に要する経費	△50万円 △356万円
衛生費	特別会計繰出金に要する経費 合併処理浄化槽普及事業に要する経費 根室北部廃棄物処理広域連合に要する経費 一般廃棄物処理に要する経費 PCB廃棄物処理に要する経費	△2,770万円 △270万円 △154万円 △68万円 △67万円
農林水産業費	道営草地整備改良事業に要する経費 漁港整備に要する経費	△64万円 △398万円
商工費	その他商工労働振興に要する経費 温泉供給に要する経費 地熱利用に要する経費	△65万円 △814万円 △142万円
土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	△538万円
公債費	町債元利償還金 一次借入金利子	△192万円 △200万円

総額 38億2,029万円

平成24年度国保会計

補正額 **239万円**

第1回臨時議会

総務費	その他国保一般事務に要する経費	1万円
保険給付費	一般被保険者療養給付費 出産育児一時金	△244万円 △171万円
諸支出金	繰出金	653万円

総額 12億3,993万円

平成24年度診療所会計

補正額 **△2,771万円**

総務費	診療所施設管理運営に要する経費 医療再生に要する経費	△146万円 △2,625万円
-----	-------------------------------	--------------------

総額 5億528万円

平成25年度一般会計

補正額 **1,488** 万円

第一回臨時議会

総務費	その他一般行政に要する経費	15万円
	その他町有財産に要する経費	161万円
	根室海区漁業調整委員会委員選挙に要する経費	251万円
民生費	老人福祉センター管理運営に要する経費	8万円
衛生費	特別会計繰出金に要する経費	15万円
農林水産業費	ウ二種苗生産施設管理運営に要する経費	62万円
商工費	緊急雇用行政に要する経費	924万円
	知床開きに要する経費	10万円
	その他観光事業に要する経費	20万円
	自然とみどりの村施設管理に要する経費	7万円
	温水プール管理運営に要する経費	15万円
教育費		

総額 34億3,305万円

平成25年度一般会計

補正額 **2,100** 万円

第二回定例議会

総務費	その他一般行政に要する経費	8万円
	自治会に要する経費	240万円
	参議院議員通常選挙に要する経費	343万円
民生費	各種福祉館管理に要する経費	59万円
	その他老人福祉に要する経費	1,300万円
	特別会計繰出金に要する経費	4万円
衛生費	修学資金に要する経費	120万円
	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円

総額 34億5,405万円

条例改正

- 一、羅臼町町税条例の一部を改正する条例制定について
- 二、羅臼町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 三、羅臼町新型インフルエンザ等対策本部条例制定について
- 四、財産の取得について
資源ごみ収集車 一台
- 五、財産の取得について
給食集配車 一台
- 六、羅臼町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について
- 七、北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 八、北海道市町村総合事務組合規約の変更について

議員発議

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

人事案件

羅臼町監査委員の選任につき同意を求めることについて

任期：平成25年6月1日～

平成29年5月31日

浦崎 頼 男

昭和21年1月4日生 67歳



羅臼町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

任期：平成25年6月22日～

平成29年6月21日

萬屋 勝利

昭和19年5月4日生 69歳

大森 安 夫

昭和19年6月21日生 68歳

横 岩 信 子

昭和23年3月4日生 65歳

総務・民生常任委員会

委員長 坂本志郎

前期各常任委員長報告

～2年間の常任委員会の任期の最終委員会において各委員長より総括にあたる報告がありました～

二年間の委員会活動の期間で二回の視察調査を行った。

平成23年12月20日

①新診療所建設進捗状況

②福祉施設「とっどる」

③葬祭場炉改修視察

平成24年8月8日

①知床らうす国民健康保険

診療所開設後の現状視察

②福祉施設「福寿園」視察

③ちゅうりっぷ保育園視察

閉会中の所管事務調査

①財政運営について

②町有地の管理状況について

③町税一般について

④北方領土対策について

⑤保健衛生について

⑥国民健康保険事業の運営

について

⑦介護保険事業の運営について

⑧後期高齢者医療事業の運営

について

⑨診療所事業の運営について

⑨診療所事業の運営について

⑩社会福祉について

⑪現地視察について

⑫その他

常任委員会の権限は、調査権と審査権に分けられるがその執行は当町会議規則により定められている。

常任委員会の権限（責任）

は、調査事項の実態を把握し、分析し検討して問題点を捕らえ改善し、改革するにはどのような措置を講ずればよいか、採るべき対策なり、政策を究明して結論を出すことである。

単なる実態や実情を確認するだけでなく、問題点に対する改善策と対応策を結論づけることが調査の究極の目的である。

今後の委員会活動の課題

について

当委員会の二年間の活動を前述の所管事務調査事項について「実態、実情の確認の上、問題点に対する改善策と対応策を結論づけた

か」という視点に立つとき、不十分であったのではとの感否めない。その意味において委員長としての力不足を痛感するとともに、委員各位に対しお詫びを申し上げる次第である。

今後の常任委員会の運営にあたり、前述の調査の目的を委員全員が共有し、努力を傾注することが町民の暮らしを一步でも改善することにつながるものと確信する。

経済・文教常任委員会

委員長 湊屋 稔

平成二十三年より二年間委員会を担当させていただきました。行政より提出された議案に対しての審議を中心にしたさまざまな課題に取り組んでまいりました。

特にこの二年間は、羅臼町の基幹産業である漁業が著しい漁獲の低迷により、危機的な状況になりつつあるということがあります。委員会でのことについて深く協議をするようなことになりました。

また二回の現地視察も行った「羅臼中学校」「春松中学校」「羅臼小学校」「郷土資料館」「給食センター」等を視察し、それぞれ現状の把握や課題を指摘させていただいております。

今後の課題として羅臼町の経済を揺るがす大きな問題であり、引き続き問題意識を持ち注視すべきであると考えます。

経済について

（漁業）

決して漁協だけの問題とせず、水産関連業界や商工業界など、羅臼町全体の問

題として連携を深め共に問題解決に向け努力が必要であります。

(観光)

知床らうすの持つ素晴らしい環境や自然や産業を生かした体験型観光を民間の力により確立されてきた二年であったと思います。

行政も学習旅行の受け入れのための協議会を設立し、様々な団体や企業との連携や町長のトップセールスなどで千人以上の受け入れがあったことはひとつの成果であると言えます。

(学習旅行のみならず一般観光客も含め、流動人口の増加に対しての対策も必要であります。今年度より観光協会への職員派遣も行なっており、羅臼町の観光産業への期待感の表れであると委員会としても評価します。

文教関連について

(中学校)

現地視察も行った羅臼・春松中学校については、やはり老朽化が著しく早急な

対応が求められていました。平成二十七年だった中学校建設の方針が発表され、建設のための資金の積み立て予算も計上されたことは喜ばしいことですが、中学校建設を考える場合、学習環境が生徒にとってより良きものであることを優先し判断されることを強く望みます。また、何十年に一度の大きな建設になりますので、できる限り情報を開示し、議会や常任委員会でも共通の認識を持ち取り組んでいけるよう望みます。

(給食センター)

給食センターの老朽化も視察を通じ、問題ありと認識いたしました。二十五年度予算には一部の機器の整備や購入が盛り込まれておりますが、空調設備など根本的な問題もあります。現地視察で指摘した問題点の解決に今後も取り組んでいただきたいと思います。

(社会教育)

教育長も重要と考えていると言っている「青年教育」

については学習の機会の提供や連携など更なる取り組みを望みます。

青年教育以外のさまざまな社会教育についても学びの機会を提供していただき、羅臼町を形成する町民ひとりひとりの意識の向上や幸福度につなげていただくことを期待します。

この二年間では、まだまだいろいろな事柄について質問や議論をさせていただきました。形になり進んだ取り組みもありましたが、特に「漁業の問題」「産業の活性化」と「中学校の問題」については、最重要課題として次期の経済文教常任委員会ですら十分に取組んでいただくことを強く望みます。

二年間の常任委員会において理事者、職員のみならずそして委員各位のご協力に感謝いたします。

簡単ではありますが、今期の経済文教常任委員会の総括とさせていただきます。

新・常任委員会決定!

総務・民生

経済・文教

任期…平成二十五年五月一日〜平成二十七年四月三十日

委員長



佐藤

議員 晶

委員長



田中

議員 良

副委員長



高島

議員 讓二

副委員長



小野

議員 哲也

委員



高村

議員 和史

委員



鹿又

議員 政義



湊屋

議員 稔



坂本

議員 志郎



村山

議員 修一



松原

議員 臣

議会運営委員会

- 委員長 高村 和史 議員 委員 佐藤 晶 議員
- 副委員長 小野 哲也 議員 委員 田中 良 議員

高島議員

北方領土返還について

町長 大きな期待をしている

質問

本年四月、安倍首相がロシア訪問によって北方領土返還交渉が合意し、領土返還の期待が高まるところで、この度の首相の訪口での交渉についての印象をお聞きする。

また、町としてこれまでのような北方領土返還運動を行い、その効果についてどのように評価されているか。

機関に要望を込めたいと思いますが町長はどのようにお考えか。

協町長

「日露パートナーシップの発展に関する共同声明」を採択した事は日露の具体的なあり方を示す大変有意義な交渉であったと思う。



高島 譲二議員

ビザなし交流の役割と効果についてのお考え、更には隣接地域のビザなし渡航の枠組みの拡大を、関係

「北方領土の日」の返還祈願事業など様々な発信をしており、啓発活動の拡大に繋がっている。

今後は次世代への運動の継承が大きな課題であり、北方領土問題等に関する学習の充実・振興が重要であると考える。

「北方領土の日」の返還祈願事業など様々な発信をしており、啓発活動の拡大に繋がっている。

今後は次世代への運動の継承が大きな課題であり、北方領土問題等に関する学習の充実・振興が重要であると考える。

な雰囲気の中で北方領土問題の解決に向けた重要な役割を果たしていると考えます。

ビザなしの枠組みの拡大については、現在、国や関係機関では、概ね三年を目途に全般的な見直しをすることによって計画されている。

学校における北方領土教育の考え方は

高島議員

理解と関心が高まる
取り組みを推進します

質問

本町の学校における北方領土教育の学習時間、認識度についてのお考え、また、

池田教育長

子供達の北方領土に関する学習時間は小学校では約四十時間、中学校では十時間程度行っている。

認識度は校舎内に北方領土コーナーを常設し、授業においても「語り部」をお招きし、効果を高めている。

また、北方領土学習に関する指導的立場の教員がおり、学習資料の作成にも着手している。

これからも北方領土に関する正しい理解と関心が高まる取り組みを推進する。

中学校の建て替え計画について

高島議員

町長 現存の2校を廃止し新たな中学校1校を建設する

質問

二校ある中学校は校舎が老朽化しており、子供達の学ぶ環境が良好とは言えない。一日も早く改築すべきだと思います。建て替え計画についてお聞きします。

①一校とした理由、場所の

選定も含むについて
②計画の概要について
③町民に対する周知について

協町長

①将来的な生徒数の減少が見込まれ、教育的効果、学校運営に係る効果、効率性を考慮した。

場所については土地の有効利用の観点、町の防災施設としての機能を持たせ高台の羅臼中学校敷地内とした。

具体的な内容については白紙状態である。本年十二月までに町民合意を得る作業を進める。

平成二十六年から二十九年に建設を計画。財源は総事業費十五億円と見込み、半分は基金で確保する。

また、防災機能を兼ねた施設としたい。

六月二十六日、二十七日の両日、住民説明を予定している。また、要請に応じた説明会・懇談会等を開催したい。

行政の考えを問う

第2回定例議会・一般質問

田中 良議員



田中議員 基幹産業の漁業と関連企業の施策に関して

町長 各事業等を積極的に支援

- 質問
- 一、漁獲減による漁業者への支援策について
 - 二、昆布製品の消費拡大への対応策について
 - 三、安全操業や北方水域の有効利用等検討は行っているのか

四、漁業関連企業への救済施策について
 以上四点について、行政としての考え方をお伺いする。

脇町長

主要魚種のサケやホッケ、スケソウダラは減少傾向にあり漁業者には大変厳しい状況となっている。

このことから、沿岸資源の維持・増大と有効活用が求められておりますが、漁協が実施する各事業等を積極的に支援している。またスケソウダラ資源に壊滅的な打撃を与えているトロール船の即時停止を求める関係機関への中央要請をオーロロ白で町が主体となり実施して参ります。



昆布製品の消費拡大が急務と思われれます



漁協と一体となって各種イベント等で羅臼昆布の魅力と商品のPRに努め消費拡大に向け活動を実施してきましたが、これからも、漁協・生産者とともに消費拡大の活動を積極的に支援して参ります。

安全操業や北方水域の有効利用等は関係機関と協議等をして行く

国、北海道との協議、又北方四島周辺海域操業対策協議会での調整などクリアしなければならぬことが多くあり、町としては地元漁協との連携を図り、協議会の動向を見守り対応して参ります。

運転資金と設備資金の保証料・利子の一部を補給しています

漁業関連企業への救済施策については、中小企業振興資金融資制度として、運転資金と設備資金の貸付に對して、町で信用保証料及び利子の一部を補給する制度があります。

いずれに致しましても、我が町は水産が主産業であり漁業権をはじめ、資源の調整、経営、運営等につきましてはは行政として関与できる内容は限られておりますが、課題について可能な限りの対応をして参ります。

田中議員その他の質問

- ◎観光に対する施策について
- (一)道の駅周辺の整備、観光客の新たな動線の施策は
- (二)観光客への羅臼のアピールと対応について
- (三)客船が羅臼に寄港する際の町の対応と役割は
- ◎中学校建設について

議員 坂本

羅臼町の介護保険料滞納の実態と収納対策は

町長 収納対策に努力する

質問

社会保障として、高齢者が安心して必要な介護サービスが受けられることが介護保険制度の主旨であるが、介護保険料や利用料の負担が重くのしかかっています。当町の介護保険料の滞納額は、平成二十二年度実績で六三二万円となっている。別海町一五三万円、中標津町五四五万円、標津町一四二万円、羅臼町は別海町、標津町の四倍も滞納額が多い。その理由と対策は。



坂本 志郎議員

脇町長

平成二十三年度、当町の滞納額は七三三万円、別海町二九五万円、中標津町七九七万円、標津町一九六万円となっています。当町の介護保険料滞納理由は主に低所得層（普通徴収）の収納率が低いことによるものですが、今後関係部署と協力し収納率向上へ努力していきます。

質問

議員 羅臼町の六十五才以上の

介護保険料は所得に応じて八区分されています。当町の六十五才以上一、四〇〇名の五十%強約七五〇人の方の年間所得は八十万円未満（月六、七万）です。年間所得八十万円未満の高齢者で同居又は独立老人世帯で要支援・要介護状態である。早急に対策を講ずるべき

になり家族が支援できない場合、この方々の居住環境受け皿が当町には不足している。行き場所がない。年間所得八十万円以下

脇町長 当町の六十五才以上一、三九八人中、年収八十万円以下の人数は七五三人で五十三、九%です。この内、日常生活にケアが必要となる要支援・要介護者の受け皿（住居）として介護保険サービス適用の施設として年収八十万円以下の低所得者が入居できるのは小規模特養が該当します。しかしながら現在十五名の待機者がいることからすぐに入居はできません。

低所得介護認定者の老後の受け皿（施設）対策を

議員 坂本

町長 地域で安心して生活できるよう地域包括ケアを推進

〈羅臼町の介護保険料区分〉
・対象人数・年間所得・保険料

区分	65才以上対象人数	年間所得	年額保険料
第1段階	55	生活保護	28,800円
第2段階	305	80万円未満	28,800円
第3段階	80	80万～120万円未満	36,200円
第4段階	42	120万円以上	43,200円
第5段階	383	80万円未満	47,800円
第6段階	145	80万円以上	57,600円
第7段階	260	190万円未満	72,000円
第8段階	148	190万円以上	86,400円
計	1,418	※65才以上で年収80万円以下の人数753人（53.9%）	

〈羅臼町介護認定者数〉

介護区分	人数
要支援1	12
要支援2	13
要介護1	37
要介護2	31
要介護3	38
要介護4	34
要介護5	40
計	205
※65才以上に占める割合14.61%	

〈介護保険料の滞納状況〉

北根室4町	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
別海町	144,2万	185,7万	152,8万	295万
中標津町	606,5万	568,9万	545,4万	796,6万
標津町	104,8万	111,7万	141,7万	195,5万
羅臼町	354,5万	582,4万	623,1万	773万

坂本議員その他の質問

○羅臼町の雇用、経済産業政策について
○大型客船日本丸の羅臼入港時の迎え入れ計画について

平成25年度 北海道町村議会議員研修会

講師紹介



かた やま よし ひろ
片 山 善 博 氏

【略 歴】

1951年 岡山県生まれ

1974年東京大学法学部卒業、自治省に入省。能代税務署長、自治大臣秘書官、自治省国際交流企画官、鳥取県総務部長、自治省固定資産税課長などを経て、99年鳥取県知事（2期）。2007年4月慶應義塾大学教授。2010年9月から2011年9月まで総務大臣。同月慶應義塾大学に復職し現在に至る。

併せて鳥取大学客員教授、日弁連「民事司法を利用しやすくする懇談会」議長などを務める。

【主な著書】

『日本を診る』（岩波書店）、『市民社会と地方自治』（慶応大学出版）、『災害復興とそのミッションー復興と憲法』（共著、クリエイツかもがわ）など多数



い とう あつ お 夫 氏
伊 藤 惇 夫 氏

【略 歴】

1948年 神奈川県生まれ

学習院大学法学部卒。1973年自民党本部勤務、以後、主に広報を担当。1989～92年には自民党政治改革事務局主査補として「政治改革大綱」等の作成にあたる。1994年自民党本部退職。1995年新進党事務局勤務・総務局企画室長。1996年新進党退職。太陽党結成に参加・事務局長。1998年民政党結成・事務局長。1998年民主党結成・事務局長。2001年民主党退職。

現在は政治アナリストとして活動。テレビ番組等にも多数出演。

【主な著書】

『政党崩壊』（新潮新書）、『権力者たちの情報戦争』（光文社）、『永田町「悪魔の辞典」』（文春新書）、『政治の数字』（新潮新書）、『永田町の回らずしはなぜ二度回らないのか』（小学館）など多数

去る六月二十七日、札幌コンベンションセンターにおいて、北海道町村会議長会による、平成二十五年度北海道町村議会議員研修会が行われた。

札幌はどんよりとした雲が雨を降らせていた。その雨のせいもあるだろうが、少々蒸し暑さを感じさせる。

講師は二名とも、有名人中の有名人で、片や大臣経験者、片や敏腕ジャーナリストとどちらもテレビや雑誌等でよく見かける方である。

内容においても、片山さんは、今、地方議会で盛んに行われている議会改革について、片や伊藤さんについては先の参議員選の全国の現状と今後についてである。両方とも、今もとてもタイムリーな話題を受けての講演!!どちらも非常に楽しく内容の濃い講演で、さすが名に恥じぬ名演と、考えさせられるものがあった!!

視

察

平成25年
6月25日(火)～
6月26日(水)

いしかり湾漁協

あつた港朝市

今年はいしかり湾漁協が六月二十五日から二十六日の日程で行いました。

行政視察は、いしかり湾漁協「あつた港朝市」を視察して羅臼町の基幹産業の漁業と観光を考え、また福祉の方面で障がい福祉サービス事業所「北愛館」の二ヶ所を視察しました。



あつた港朝市



いしかり湾漁協が行っている「あつた港朝市」は厚田地区で獲れた魚介類を朝六時三十分頃から午後二時頃まで販売していました。札幌から車で約一時間程度の位置なので近隣の人達を含め多くの買い物客が訪れています。鮮魚はもちろん加工品なども豊富でした。当町もこのような取り組みを検討すべきだと思います。



販売風景



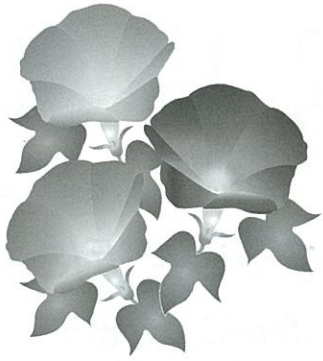
あつた港朝市の店舗



干物等の移動販売車



干物等の移動販売車



道

内



社会福祉法人愛敬園
「北愛館」

障がい福祉サービス事業所社会福祉法人愛敬園「北愛館」を視察しました。
定員は四十名（平成二十五年から六十名）で三つの作業を行うことで、みんなと一緒に働く楽しさと、毎日の作業で感じる充実感の積み重ねが、やる気と自信、そして地域の人達等とのつながりの大切さを知ることが大事だと説明を受けました。

障がい福祉サービス事業所 社会福祉法人愛敬園 「北愛館」

三つの作業とは、椎茸栽培・内職作業・施設外作業です。椎茸栽培はハウス栽培を行って管理・菌床の搬入、収穫パック作業、出荷などの作業にそれぞれの得意な分野を活かして仕事に従事している。そして出荷される椎茸は手稲区や札幌市内のスーパード道北の稚内方面で販売されているとの事でした。



椎茸栽培・菌床の作業

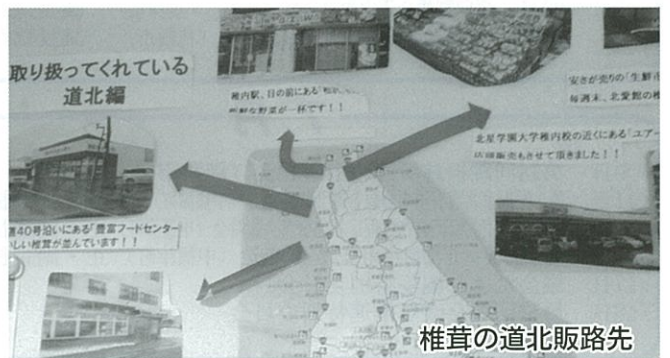
内職作業は委託事業で企業から、ボルトの組み立て、ダイレクトメールの封入、箱折など様々な作業の中から得意な作業を見つけて、意欲を持って取り組めるよう支援をしています。

施設外作業は近隣の学校や企業等から、トイレ清掃や除雪等の作業を請負、委託企業等に喜んでもらえるよう心がけて取り組んでいます。また、地域の町内会からの請負で公園管理業務にも携わっているとの事です。

施設利用者がそれぞれの得意分野で仕事に携わっている姿を見せてもらいました。彼らの笑顔が大変素敵でした。また、彼らを支援しているスタッフ皆様方の気配りに感動いたしました。



椎茸のパック詰作業



椎茸の道北販売先

議会の動き

4月

- 1日・4日 議会だより編集特別委員会
- 4日 根室振興局副局長来庁 議長
- 10日 知床羅臼町観光協会通常総会 議長
- 12日 第10回議会改革推進特別委員会・羅臼町議会議員会定期総会
- 16日～18日 ロシアトロール船操業即時停止に関する中央要請
(札幌市・東京都) 議長
- 24日 北方領土復帰期成同盟根室支部通常総会(根室市) 議長
- 30日 ゆとりステーション「ゆとり館」開館披露 議長ほか

5月

- 1日 議会運営委員会・全員協議会・経済文教常任委員会
総務民生常任委員会 議長
- 7日 2013原水爆禁止釧路地区協議会来庁署名 議長
- 8日 議会運営委員会・全員協議会・第1回臨時町議会
- 10日 羅臼町商工会通常総会 議長・経済文教常任委員長
- 14日 さけ稚魚放流式 議長
議員勉強会「介護保険について」
- 羅臼町議会議員OB会総会 議長
- 16日 国土交通労働組合北海道航空支部来庁対応
羅臼町行政懇談会 議長
- 22日 羅臼町連合町内会総会 議長
- 25日～27日 東京らうす会第17回総会(東京都) 議長
- 26日 羅臼消防団春季総合訓練大会 経済文教常任委員長
- 28日～30日 第38回町村議会議長・副議長研修会(東京都) 議長
- 31日 根室地方総合開発期成会定期総会(根室市) 議長
地域高規格道路根室中標津道路整備促進期成会総会(根室市) 議長
根室教育振興会定期総会(根室市) 議長
根室教育研究所維持委員会(根室市) 議長

6月

- 1日 知床横断道路オープンセレモニー 議長・経済文教常任委員長
- 3日 根室地方林活議連役員会及び総会(中標津町) 3名
- 5日 地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会総会(中標津町) 副議長
中標津空港利用促進期成会総会(中標津町) 副議長
- 5日～6日 北海道町村議会議長会第64回定期総会及び議長・事務局長研修会(札幌市) 議長
- 14日 議会運営委員会
- 15日 第52回知床開きオープニングセレモニー 議長
- 16日 第52回知床開き(千人踊り)参加
- 17日 経済文教常任委員会
- 18日 総務民生常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会・議会運営委員会・第2回定例町議会
- 23日 第14回羅臼町議会議長杯パークゴルフ大会 議長
- 24日 羅臼町行政懇談会 議長
- 25日～28日 羅臼町議会道内視察研修(札幌市・石狩市) 議長ほか9名
北海道町村議会議長会主催議員研修会(札幌市) 議長ほか9名

7月

- 8日 第14回釧根林活連絡会議総会(釧路市) 1名
- 11日 第1回根室北部消防事務組合議会臨時議会(中標津町) 正・副議長ほか
第1回根室北部廃棄物処理広域連合議会臨時会(中標津町) 正・副議長ほか
第1回根室北部衛生組合議会臨時会(中標津町) 正・副議長ほか
- 17日 議会だより編集特別委員会
- 18日 第11回議会改革推進特別委員会



委員 小野 哲也 委員 湊屋 稔 副委員長 田中 良 委員長 坂本 志郎

「議会をもっと身近に」
だれでも簡単にできます
議会傍聴

議会の本会議は
公開制となってい
ます。
会議当日、受付
簿に記入していた
ただけで、どな
たでも自由に傍聴
することができま
す。議会傍聴につ
いての問い合わせ
せは役場まで。



第3回定例議会日程(予定)

平成25年9月12日(木)

9月9日(月) 経済・文教常任委員会

9月10日(火) 総務・民生常任委員会

議会事務局 0153-87-2180

紙面の制約もありますが
町民の皆さんに議会と身近
になって頂けるよう分か
りやすくお伝えしたいと思
います。ご意見・ご希望が
ありましたらお聞かせ下さい。
編集特別委員長
坂本 志郎

編集を終えて



議会だより編集特別委員会